

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査は、北上市の患者・家族の望む看取りができる体制を構築するために、市内の介護保険サービス（施設系）事業所における看取り体制の実態を調査し、必要とされる医療体制の確保や、看取りを担う医療・介護等の支援者の育成等の検討・推進に資することを目的とする。

2 調査対象

北上市にある介護老人福祉施設（8施設）、介護老人保健施設（3施設）、小規模多機能型居宅介護（6施設）、看護小規模多機能型居宅介護（2施設）、認知症対応型共同生活介護（18施設）、特定施設入居者生活介護（3施設）、短期入所生活介護（10施設）、短期入所療養介護（3施設）、サービス付き高齢者向け住宅（7施設）、有料老人ホーム（7施設）、養護老人ホーム（1施設）の合計68施設を対象とした。

3 調査方法

郵送自記式

4 調査期間

調査発送日：令和2年7月6日（月）

回収締切：令和2年8月3日（月）

5 調査機関

調査主体：北上市在宅医療介護連携支援センター

調査実施：株式会社サーベイリサーチセンター 東北事務所

6 報告書の見方

- (1) 図表の中のnとは、number of casesの略で、質問に対する回答者数のことである。
- (2) 回答の構成比は、百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 図表や集計表では、選択肢の語句を一部簡略化して表している場合がある。